

事業所職員

児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	職員からの意見等	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	4	今の利用人数では十分だが利用児が増えた際、手狭になりそう。	法令遵守したスペース確保。現在より児童が増えた場合は、個々に合わせた環境配慮ができるよう整備する。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	2	看護師2名が望ましい。	現在、法令遵守した配置であるが、児童が増えた際は業務負担軽減と適切な支援のため看護人数を確保していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	2	トイレ：(現在はいいえが)車いす利用児には狭い。洗面台：児童の高さにあっていない。シャワーが利用できない。	洗面台や椅子や踏み台で高さを工夫している。シャワー室がなく排泄後入浴できないため陰洗ボトルで対応中。建物エレベーターありバリアフリー対応。今後も工夫しながら適切な支援、環境配慮をしていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6			感染予防のためにも常に室内の清潔保持を徹底している。本人の意思決定を意識しながら安心して、快適に過ごせるよう工夫している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			毎日のミーティングや議事録を確認しながら進捗と改善策を振り返りながら業務に取り組んでいる。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		6		2019年4月開所のため10月集計、12月HP公表へ。今後も継続して意見を反映させていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		6		"6"内容、同様。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	外部講師による研修はあるも外部評価にあたるのか不明。	中部圏域コーディネータによる研修あり。第三者評価委員会による外部評価は現在未実施。今後必要に応じて実施を検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			外部、内部ともに研修を定期的実施している。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6			利用等計画に沿った内容かつアセスメントや支援会議内容、保護者、本人のニーズを反映させた個別支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	十分なアセスメントが取れているのかわからない。	標準化ツールだけでなく事業所、児童に合ったツールを作成し使用し全体共有を継続していく。

		チェック項目	はい	いいえ	職員からの意見等	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	2		ガイドラインに沿った支援を行っているところと具体化できていないところもある。家族支援、地域支援については研修も実施しながら外部機関とも連携し事業所の役割を共有していく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	2	沿った支援を行っているも出来ているかどうかは分からないこともある。	保護者様から見直し等の要求があった際は必要に応じて見直し、計画に沿った支援をしている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		“13”内容、同様。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		保育士が中心のため偏りや負担がないか気になる。	児童が多くの刺激が得られるよう、各専門職とも連携し固定化にならないよう企画実行していく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6			ガイドラインも活用しながら各児童の特性に合った支援計画を作成している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			朝、帰り、全職員が当日の業務内容、役割分担、改善点など共有できるよう時間を設けている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			“17”内容、同様。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			支援目標に沿った記録であるかどうかとも意識しながら記録作成をしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			3カ月に一度モニタリングを行い、支援の振り返りや今後の課題について保護者と確認し、必要であれば個別支援計画の見直しを行う。
	関係機関や保	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	2		教育、保育、地域や医療機関との情報共有や相談、報告を行い、適切な支援を行えるよう努めている。
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	2	連携していきたいが方法が不明。往診、外部機関との情報共有はできている。	地域の社会資源や関係機関については相談員や基幹の協力も得ながら連携を行っていく。
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6		保護者の同意なく医療機関との連携は行っていない。	医療に関しては緊急性のない確認事項は保護者を通じ主治医からの情報提供を活用。必要に応じて保護者の同意のもと連絡、連携できるよう体制を整えていきます。

	チェック項目	はい	いいえ	職員からの意見等	工夫している点、課題や改善すべき点など
護者との連携関係機関や保護者との連携	25	3	3	対象児に対して移行支援を今後行っていきたい。	市内保育所、学校、基幹相談、関係機関と連携しながら情報共有、相互理解を図っている。
	26	2	4	同上	“25”内容、同様。
	27	6		交流や見学を行っているが十分ではない。様々な機関からの助言が欲しい。	療育医療センター、支援学校、児童発達や放課後等デイと協力、連携し、研修の機会を設け今後の支援につなげられるようにしている。
	28	4	2	毎月ではないが交流を企画し行っている。	保育所や幼稚園、交流できる機会を企画し提案し活動している。児童の体調が変動しやすいため企画しても延期や中止になることもある。
	29		6		業務終了後や休日の開催が多く、積極的な参加が難しい。必要時には参加していきたい。
	30	6	2	発達状況や課題など話す機会や時間は不十分だと思う。	発達状況や現状課題など保護者と共有し理解できる機会を多くもてるようにする。
	31	5	1	児童に対する困り感が出出しにくい。保護者が発信しやすい環境を作っていきたい。	支援の内容を伝えながら保護者の思いをヒアリングし必要に応じ家庭での対応方法についてのアドバイスや相談、面談を行っている。職員が親の会に参加し得た情報を保護者へ伝えたり、繋がりをもてるよう支援をしている。今後はペアトレの研修も行えるようにする。
保護者への説明責任等	32	4	2		児童発達支援管理責任者にて説明を行っている。
	33	4	2		全職員でガイドライン内容の共通理解を図る。また、保護者へ説明と同意を得たうえで支援計画を作成し支援を行っている。また必要に応じて計画見直しを行い保護者へ説明、同意を得たうえで進めている。
	34	5	1	もっと相談しやすい雰囲気をつくっていきたい。保護者が納得できる支援をしていきたい。	相談しやすい雰囲気や言葉かけを意識した助言と支援を行っているが不足部分もある。安心して相談できる空間づくり、必要な助言を行っていきたい。
	35	1	5		外部開催の親の会に参加している。事業所内父母会は未開催のため、12月に父母会開催予定。今後も定期的に開催していく。
	36	2	4	父母会の開催ができていない。	家庭の状況に合わせ必要時に預かれるよう12月より延長支援導入。ニーズに合わせて対応の体制を整備している。

		チェック項目	はい	いいえ	職員からの意見等	工夫している点、課題や改善すべき点など
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	1	ラシッサ便りを発行している。	月1回事業所広報、外部向け広報を作成。またHPにてブログアップを月1回行っている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6			個人特定にあたるファイルなどは鍵付きキャビネットへ保管中。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		児童に合わせたツールを使っている。	個々の特性に合わせて絵カードやジェスチャーを用いている。また、連絡帳にて家庭での様子、通所の様子も互いに共有できるよう配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1		見学会やイベント時には地域参加型の支援ができるよう運営している。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	2	実際に行っているも周知不足。	定期的に行っている。火災時の避難訓練2回実施。沖縄市避難訓練、1回実施。保護者へマニュアルを周知できるようHPや案内文を作成し配布する。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			“41”に同じ。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5	1		医療情報確認書にて各児童ごと保管、全職員へ共有している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		6		対象児がいないが必要時には主治医と連携し対応を行う。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		いつでも確認できるよう報告書を作成し同じことが起きないように全職員で共有していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			虐待防止マニュアルを保管している。沖縄市虐待防止研修に参加済。今後も定期的に参加していく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	2	現在身体拘束がやむを得ず必要な児童がいない。	重要事項説明書内に記載あり、契約時に説明し保護者より了解を得ている。必要時には個別支援計画書に同意を得たうえで記載していく。また、通所で想定される内容を職員全体で定期的に話し合いを行っている。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。